

# J H F 理事会議事録

日 時： 2012年7月31日(火) 14:00~18:00

場 所： J H F 事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

## 1. 議長・議事録作成人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人：出席理事監事全員

## 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 内田孝也 大沢 豊 山口淳一 安田英二郎

【監事】 對馬和也

欠席（理事） 荒井健雄 菊池守男 工藤修二 （監事） 市川 孝

（出席理事4名。今理事会は定足数を満たし成立した）

## 3. 理事・監事のひとこと

大沢理事：茨城・北野氏がハングの体験会を毎日続けています。JHFとしても場所を広報する等サポートしてあげられればよいと思います。

山口理事：今月28日に神奈川県連創立20周年のタンデムイベントがあり参加して来ました。

議長（内田会長）：総会の後は、日本航空協会の評議員会、6月27日は東海日動パートナーズ・ノースワンの社長交代の挨拶、7月22日は映像コンテストの審査会、24日は教員スクール事業委員会がありました。今日は2号議案の説明でハングパラ振興委員会の芦川委員長が出席しています。

## 4. 審議事項

### 審議事項4-1 教員助教員申請料0円化について

安田副会長：去年の総会で意見が出て教員助教員の更新申請料を1万円から5千円にしましたが、教員更新講習の受講も費用が掛かり2万円位になります。現場でフライヤーを増やしている方々に支援をしたいということで、5千円から0円にしたらどうでしょうか。制度的にはよいですし、政策的に金額を決めていいと思いますが、収入が減る金銭的な問題はあります。

議長（内田会長）：新規と更新の申請料は分けて話し合いますか。

大沢理事：更新講習会を無料にしたらどうですか。県連にも申請推薦料を払っているのですよね。

山口理事：将来財政上値上げする際、0円だと難しいので1,000円にしたらどうですか。

安田副会長：事務局としての実費は1,000円で足りませぬ。

芦川委員長：無料にするのであれば、有資格者に対して活動報告等の義務を与えるべきだとは思いますが。

大沢理事：3年に1回更新講習会を受けているので、その時にレポートをもらうとか。

内田会長：活動報告の義務を与えるというのは制度を考えないといけないので、この審議とは別になります。この議案については、更新時も新規取得も申請料を1,000円にするということで決議します。

大沢理事：周知期間をおき10月1日の事務局受付分からにしましょう。

採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。  
賛成： 内田、大沢、安田、山口

#### 審議事項4-2 パラグライダーパンフレット作成について

芦川委員長：ハングパラ振興委員会で決議をして、ビデオを作ることで撮影準備をしています。映像だけではなくパンフレットがあれば全国的に統一できる説明ができるということで作成を提案します。できればパラとハングの両方を作りたかったのですが、予算の関係でパラだけに絞っています。

大沢理事：印刷は自分でするのですか？

芦川委員長：JHFサイトからダウンロードする方法もあります。

安田副会長：基本的に相見積もりで、印刷は安い所に頼んだ方がよいです。パンフレット作成は賛成ですが、この案は写真になるのですね。

大沢理事：写真は撮り直すとお金が掛かるから、DVDとか教本の写真を使えばよいと思います。

議長（内田会長）：振興のための活動ということでパンフに限定せず上限の枠を決めることを考えてもよいと思います。

大沢理事：学生連盟で部員を勧誘してもらうために渡すのは効果がありますね。

安田副会長：学生からは説明ではなく格好いい機体の写真とかの方がいいという意見もあります。

山口理事：JHFのイベントで配るのであればよいですが、後は興味がある人がダウンロードして印刷して手渡すレベルでしょうか。どこで配るのですか。

芦川委員長：欲しいという人に配るのと、ビデオを放映してもらえる所に置いてもらいます。

大沢理事：裏にハングを入れるのであれば賛成です。

對馬監事：実際にスクールを運営している人の意見は聞いたのですか。

大沢理事：パンフレットはスクールで独自に作っている所も多いですよ。

安田副会長：内容を作るにはこういう風にして欲しいとかがあると思うので、色々なスクールの意見を聞くことも必要だと思います。

議長（内田会長）：詳細は委員会に任せようと思うのですが、決議としては、提案書の13万で委員会がパンフのみ作るのか、予算枠を決めて委員会としてやりたい事の優先順位を考えてもらうか。

山口理事：活動として必要だというのであれば、枠を渡してあげて委員会で考えてもらった方がよいと思います。総額で考えると少ないですが、JHFの予算規模からするとウエイトが高いですよ。

大沢理事：ビデオは20万として予算が出ているので、ビデオが出来上がってからパンフレットであればいいですが、同時進行なので未知数な所はあります。予算が許すのであればやってもらうのが一番いいと

思います。

安田副会長：来年度は予算前に計画を出してもらえばいいので、今年度は枠を作ってあげればいいのかでは。

議長（内田会長）：委員会からはパンフレットを作る印刷代まで入れて13万という提案でしたが、議決としては委員会として使っていい枠を決めることで議決を取るか決めます。

**採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 内田、大沢、安田、山口**

議長（内田会長）：議案の趣旨が変更されました。当面の枠として40万円の枠で権利を委員長に預けることで議決します。

**採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 内田、大沢、安田、山口**

#### **審議事項4-3 役員選任実行委員の選任について**

議長（内田会長）：現時点で下記2名応募がありましたので選任の議決をお願いします。最低定員は3名なので、他に応募があった時点で文書理事会にて選任することとします。

島野 広幸 （神奈川県）

鈴木 由路 （東京都）

**採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 内田、大沢、安田、山口**

#### **審議事項4-4 2011年度決算監査報告書への見解書について**

議長（内田会長）：総会の際、監査報告書の監事からの意見について正会員から言われたことに対して、文書にて公開が必要かどうかご検討ください。

安田副会長：監査の大切なことは不正がないことです。その点についての意見であれば答えざるを得ないのですが、これについては答える必要はあるのでしょうか。

大沢理事：総会では機体による分類はしないと決まったのですよね。

對馬監事：2年前総会での会費改定の議決の際、パラ、ハング、モーター別の会費を分けようとしたのですがそれは確かに否決されました。私の理解では会費収入を分けるということは否決ですが、把握することを止めるという決議はしてないと理解しています。

議長（内田会長）：昨年の総会議事録では「JHF 執行部と監事の間でこういう話があるのは不思議です。私はハングもパラもモーターもやっています。要は空を飛んでいる仲間ということでJHFは結論が出ていると思います。これを分類すると非常に難しい問題も出て来ます。来年も同じ意見が出るとしたら納得できませんので、フライヤーとして一纏めで扱って欲しいと思います」となっていました。それがまた今年もこの監査報告書でした。今年の総会で、この見解が違って分類すべきだと総会で決めてくれれば、我々理事会はやることを変えますと会場に投げ掛けましたが、誰からも意見がなく、分類しましょうとはなりませんでした。

對馬監事：意見が出なかつただけでしょう。私はそう思いません。モーター、ハング、パラも事故分析も

違うのです。どの程度の事故率になっているかとか分かりませんよね。

大沢理事：事故調査と事故報告を見れば状況も機体も分かりますよね。

安田副会長：正確に決議を取ってはいないと思いますが、議論の流れとしては、分類しないということは総会の意思として取っていいと思います。それと違うことを監事から指摘されても、それは単なる個人的見解であって、それに対して答える必要があるかですよね。

大沢理事：今年の総会で言われたのは、去年も一昨年も同じ様な話をしているのに、今年も同じ様な意見書が出て来たということに対しての疑問ということだと思います。

對馬監事：では、理事会決議として、理事会としては分類把握をしないと決めればよいのではないですか。

議長（内田会長）：それを理事会決議とするかは理事会で考えますが、総会でやっていたことを話し合っているだけなので、総会で決まっていることを理事会で決議する必要はないと思っています。

對馬監事：総会では決まっていらないのですよ。

議長（内田会長）：今年の総会の青森県連からの指摘では、会員管理システムを改訂する際に、分類することをするはずではなかったのかという最初の質問でした。それについては去年の総会で説明をしています。技能証は永久資格なので発行した後どうなのかは、会員管理システムで管理することはできるようにはなっていません。今年も推測値の数字は把握していると説明しています。技能証で今使っていないものをバツにするとか、今は飛んでいないとか、永久技能証を改変するシステムは取っていません。その説明はしてあります。会費を変えないと決めた時に、システムにそういう変更はしないと宣言しています。

安田副会長：総会の意思はそうなっているので、理事がやっていることがおかしいというのは非難される筋合いではないのです。総会の総意と違うのであれば対処しないとイケないのですが、そうではありません。

議長（内田会長）：総会では正会員から、監事からの意見なので答えないとイケないと言われたと思っていましたが、議事録草稿で再確認を行った結果、文書による公開までは必要ないと認められる為、今回は発行しないという決議を取ります。

**採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 内田、大沢、安田、山口**

## 5 協議事項

### 5-1 総会での正会員からの意見、要望

6月総会での正会員からの意見、要望を協議、検討しました。大阪府連からのリパックされたもので飛ぶ啓蒙活動、高齢者対応については委員会を検討します。体験会、普及活動に対して補助的なことをするか、デジタル無線機の普及に対してどうするか等を今後理事会で検討していきます。

### 5-2 三陸体験会について

議長（内田会長）：フライヤーの方から東日本大震災被災地の仮設住宅の方々に楽しいことを検討したいということで、ハング、パラの体験会をやりたいという提案がありました。関係者を集めての体験イベントは後援しました。他の体験については、報告、決定を待ちどうするか決めていきます。

## 6 報告事項

### 6-1 県連主催体験会・後援申請料の引き下げ

総会で正会員より、県連主催の体験会について主催者賠償責任保険をJHFで負担して欲しいという要望があり対応を検討、今後の都道府県連盟主催の体験会（それに準ずる体験会）については、後援申請料を1万5千円から8千円に引き下げました。

他、下記以下のとおり報告された。

- 6-2 映像コンテスト結果 最優秀賞1、部門優秀賞2、入選2、審査員特別賞1、全6点
- 6-3 予算収支：進捗管理表
- 6-4 現金・預金・郵便振替等残高明細
- 6-5 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）  
理事

内田孝也 印

大沢 豊 印

安田英二郎 印

山口淳一 印

監事

對馬和也 印

議事録作成人：桜井加代子